

府高退教通信

NO.222

発行
〒543-0021

大阪市天王寺区東高津町七十一
府教育会館7F 大阪府高教内
大阪府立高等学校
退職教職員の手

TEL 06-6768-2106
FAX 06-6768-1675

維新・安倍政治を退場させ、歴史を開く新たな一歩をすすめてみましょう

府高退教会長 広瀬 晃

新年明けましておめでとう
ございます。

元号で恐縮ですが平成最後の年明けです。考えれば私たちが退教はほぼ平成とともに歩んできたことになりました。退教の結成は湾岸戦争の一九九一年、平成は消費税が初めて導入された一九八九年からです。平成の方が少しお兄さんです。この平成という時代、いろんな見方があるうかと思えますが私の実感としては歴史の大きな転換期、佐山さん流に言えば、歴史の歯車が音を立てて回り始めた時代のような気がします。



府高退教会長 広瀬晃

たような気がします。昨年にも民意に背いて暴走を加速する安倍政治に怒り心頭に達することが多くありましたが、沖縄知事選勝利、臨時国会への改憲案提示阻止、核兵器廃絶運動、米朝首脳会談など希望ある動きも大きく広がりました。

そして、今年には選挙の年で安倍政権の傍若無人さが必要です。七月の参院選挙は、安倍政権に終止符を打つ絶好のチャンスです。

平成の激動をたまたかいぬいた国民の旗印は憲法理念です。今、立憲主義破壊を許さないことを基本に市民と野党の共同・共闘が深まり広がっています。まず四月に、平成最後の一斉地方選挙で安倍政治の先兵として大阪の自治・教育を破壊してきた維新政治に鉄槌を下す、そして七月、

第214回「短歌を楽しむ会」(18・12・3)

参加者 四人。出稿は十人二十二首。ガットネロのオーナーの松浦さんに出してもらったチョコとティーを味わいながら、もう師走か、二〇一九年は作品集第十四集を出す年だねなどと語り合いました。

喜寿と古稀あとちよつと畑がんばるか曾孫得て明くる朝の一^{ひとくわ}鍬
高橋貞雄

秋の夜の夕食で聴くカセットは意外にまわる一人酒かな 月岡秀夫
神無月師走にかけてOB会のラッシュなれど終会交る 池永 孝

あの人がシツカリと云えば耳を塞ぎ丁寧と云えば眉に唾する 松田皓平

「食べさせてあげられなくて」と遺書にあり憲法25条持つこの国にして
(母子餓死事件に思う) 五百蔵光彦

紀ノ川の流にに沿って走りゆく和歌山線の旅の楽しき 佐々木有馬

誰^{どなた}方やる会うたび微笑むドライバー出勤途上の近所の女性か
福谷美智子

一瞬の長くあれかし霜月の朧とまごう白き月あり 鈴木晋司

山路来て今ひとひらの柿紅葉残りし秋も暮れにけるかな 川崎康樹

五倍ものクリーム代取られたと嘆く人ごまかした人も(近所の人) 山尾邦子

次回第二一五回の「楽しむ会」は、二月十一日(月)二時から教育会館
ななめ向かいのガットネロで行います。歌稿は二月四日(月)までに
左記宛、ハガキ・FAX・メールなどでお送り下さい。

〒533-0024 藤井寺市藤井寺二丁目6-17 山尾邦子

tel・fax 072-954-8524 mail kunchan25@outlook.jp

携帯 090 9167 3031

新しい元号の最初の国政選挙で安倍政権を退場させ改憲野望の息の根を止める、そんな歴史的一年にしたいものです。
皆さんのご健勝・ご多幸を祈念するとともに、退教運動への引き続きご支援・ご協力をお願いして新年の挨拶いたします。

本当に楽しかった「銘酒を楽しむ会」

恒例の銘酒の会が昨年の12月21日にたかつガーデン、705室で開催されました。27名の参加者でした。たくさんのお酒、ワイン、ビールが並びました。ご馳走もどれもが手作りです。とてもおいしいものでした。山上板長が作る日本料理は見た目も上品で、季節感があり、おいしく、みんなびっくり。恒例のおでんは、一番人気は大根で、丹精込めて作られた連山大根ですが、その他の具もどれもがおいしい。だしは良きこぶ、良き鰹で、味を決めるのは佐藤さんです。その他のスタッフも芋の皮むき、卵の殻剥きも上手になりました。稲荷ずしは藤井さん、鯖ずしは佐藤さん作です。多くのスタッフが吟味した高級材料でサラダや、その他の料理を作ります。

催しの内容がとてもすばらしかったのは、何と言っても参加者全員のスピーチがとてもすばらしかったことです。感心したり、笑ったり、じーんときたり、ここは何でも心許してしゃべれるなあっていう感じです。「シャンソン」を楽しむ会のシャンソンも第二次世界大戦中の活動家、フランスの小説家・詩人のルイ・アラゴン作詞の「エルザの瞳」を歌って好評でした。アラゴンの詩を是非フランス語で読んでください、とても美しいですよと浅海さん。

少しこの日の感想を聞きますと、「司会がみんなの話を引き出すのが上手」「みんなのお話の中で現役時代に活動された中身に圧倒されました」「神原先生にバイオリン聞かせる約束してたのに、、、」「いつも来てくれる人がいて、新しい人も来てくれて楽しい」「志賀さんのカンゾー聞けなかった」「松田さんにワイン持ってきたのに、、、」「とても楽しかった」等でした。次回はお客さんの方がいらして下さることを期待します。(山尾記)



「安倍9条改憲許すな！」(3000万署名)

1. 25環状線全駅一斉宣伝実施について

大阪憲法会議の呼びかけに応じ大退教は環状線「鶴橋駅」を担当します。参加可能な方はよろしく。

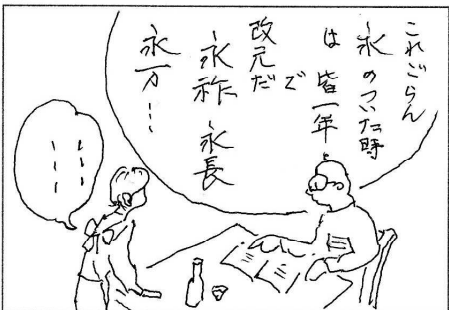
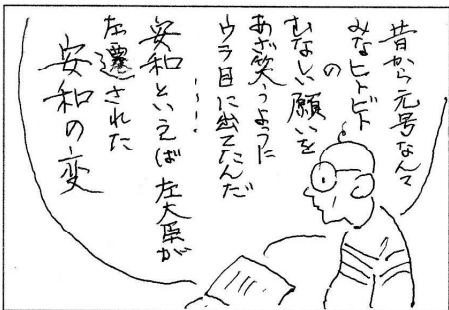
日時・場所：2019年1月25日(金)

午後4時半～5時頃

大阪環状線「鶴橋駅」(中央出口方面)

府高退助氏

門田向日子(布施) NO. 176



菜園通信

「古稀」からの百姓

村越 伊久男(農芸)

八朔の収穫を正月の2日から始めます。家族3人で3日には獲り終えます。(正月は皆が集まるので家族行事になってます)。八朔はハサミを使わず手でもぎ取るだけの簡単なものです。不知火・清見・柚子・晩白柚など、最近植えたのも一、二本ずつあり、休憩時間にはそれらをとって味と香りを楽しんでいます。

苦味と酸味を減らすため、倉庫に1~2月貯蔵します。そこまで運ぶのが大変で、細い道なのでかつては一輪車でしたが、今はキャタピラ・エンジン付きの搬送車です。コンテナを6個2段に積み重ねます。これを20回弱往復するので高齢者にとっては必須のものです。今年は剪定を強めにし、実は大きかったけど数は少なかったです。消毒が不十分だったからか実に紺色の米粒様のヤノネカイガラムシができました。2月に入ると貯蔵してあるのを選別し始め、親戚、元の職場やお世話になってる方にも宅配便で送ります。近所の方にもお裾分けします。

今71才ですが、70代後半までは百姓に関われるような気がします。昨年の豪雨災害でため池が話題となっていますが、水田をやっている限り池や水路は水利組合が管理し災害にも対応しています。百姓を通じてのつながりも他とは違う強さを感じることがあります。農産物を通じての家族、親戚や地元との関わりも強まっているような気がします。年金を主にして、次の年も百姓する意欲を持てるぐらいの収入があればいいと思っています。

この合間に年金者組合、社保協、高齢者連絡会にも顔を出し、議会や自治体への請願や傍聴にも行ってます。

中国鉄道に乗るのは日本で飛行機に乗る感じに似ています。荷物検査、身体検査を受けてチケットを持っているものだけが待合室に入り、ホームに行くにもまたチケット検査がありました。駅舎はどこも立派です。瀋陽にも地下鉄があります。バスは一回1元(約18円)ですごく安いと思います。ただし冷房はなし、冬でも暖房はなしのことでした。いまは更新されていくかもしれません。町中は簡体字で、中華思想

当面の日程

【1月】

26日(土) 13:30 大退教学習会
大阪市立社会福祉センター

【2月】

4日(月) 14:00 謡を楽しむ会

4日(月) 14:00 短歌を楽しむ会

11日(月) 13:30 建国記念の日
不承認のつどい

15日(金) 14:00 府高退教幹事会
たかつガーデン

18日(月) 21日(木)
スキーツアー 志賀高原

25日(月) 14:00 シャンソンを
歌う会

秋の散策 「隠れキリシタンの里」を歩いて

寺西 文夫(長野)

5年間の再任用を終えて、翌年は病休代替の非常勤で短期間でしたが、働いていました。今年度は完全にフリーになって、生活がほとんど家の周辺という形になったことで、もう少し人との繋がりがあつたらと思うようになり、府高退教の行事に参加すれば昔の仲間と会えるという思いで、この秋の散策に参加しました。茨木の隠れキリシタンの里には随分前に来たことがあつたのですが、キリシタン遺物史料館ぐらしか覚えていませんでした。この日は天気も良く絶好のハイキング日和でした。JR茨木駅からバスで50分、本当に隠れ里という感じの場所でした。最初に訪問した光雲寺にはキリシタン墓碑があり、あまり見たことのないギリシヤ十字が彫られていました。境内の木が倒れ、屋根が補修されている様子を見て、大阪北部地震や台風21号の自然の力を改めて痛感させられました。田んぼのあぜ道を歩き、さらに細い山道から棚田に出て、そこで昼食。柿を取ったり、棚田を眺めながらのんびりした時間を過ごした。その後、寺山にある「上野マリア」銘が刻まれた墓碑を目指す。墓碑はレプリカだが、中央の十字の上に一の付いた千十字が刻まれている。最後にキリシタン遺物史料館を訪ねる。教科書で出てくる聖フランシスコ・ザビエル画は千提寺の母屋の屋根裏から発見されたもので、他にマリア十五玄義図、天使を描いた紙本銅版画、木製キリスト磔刑像、金属製メダルなど重要な収蔵品を史料館の学芸員の方が説明してくれて、理解が深まり



写真は笹岡優光さん撮影

ました。晴天に恵まれ、山歩きをしながら歴史散策という健康的で有意義な秋の一日を過ごすことができました。

瀋陽にて

（その三）

鋤柄 正昭(摂津)

日本はどの学校でも行事予定表が4月当初にはできていますが、その学校ではいつ何が行われるかが10日ぐらい前にならないとわかりませんでした。行事予定表がない学校でした。8月までの連休は労働節、端午節などがあり、旅行を計画するのですが、前もって早く計画することができません。3カ年の間に北京、大連、長春、ハルピン、丹東、朝陽、天津などに行きました。できればもう一度行きたいです。長春で「日本人お断り」、一等席の列車の中で小さい子どもから小日本人(ジャオリーベンレン)といわれたこともありました。

中国鉄道に乗るのは日本で飛行機に乗る感じに似ています。荷物検査、身体検査を受けてチケットを持っているものだけが待合室に入り、ホームに行くにもまたチケット検査がありました。駅舎はどこも立派です。瀋陽にも地下鉄があります。バスは一回1元(約18円)ですごく安いと思います。ただし冷房はなし、冬でも暖房はなしのことでした。いまは更新されていくかもしれません。町中は簡体字で、中華思想

1013年度入試の概要を解説

（その二）

山瀬 一美(山本)

裁決は以下のとおり。
主文

処分者が平成25年10月4日付けで申立人に対して行った減給処分(一月間の資料点検不十分であった(以下略)「平成26年大人委(不)第一号事案裁決書」より
裁決書の日付は、平成29年5月22日。申立てから裁決まで三年八カ月を要した。「ポーターライン判

定」のミスは、選抜基準に算入すべきではない小論文の点数を算入したというものである。裁決書では、府教委の実務指示を直接受けていた教頭の資料点検不十分であったことがミス発生の主要因だと判断に立って処分は修正された。しかしこの年の入学試験をふり返ると、ミス発生の過程が明らかになる。
一、各校の年間行事予定が決まってから入学試験を二回実施することが通達された。
二、前期学力検査は、学力検査以外に小論文を実施するの、面接を実施するの、二学期に入るまでさまざなかつた。
三、小論文を実施すると決まった後も、採点担当をどうするのかが各校まかせとなつた。
四、毎年開催されていた入学試験についての府教委による説明会が開催されていなかった。
右のように前期後期の二回入試が突然決まり、実施要項はいわば五月雨式に、また一部は現場判断に任せる形で決まった。

によるものかなと思うのですが横文字を漢字に置き換えてみました。奥林中心(オリンピックセンター)などです。日本との違いがわかりました。ハルピンでは731部隊の跡を見ました。瀋陽では張作霖が爆殺された現場や「9・18を忘れるな」と壁にかかれた記念館も見ました。日本は勝手に中国本土に軍隊を進め、侵略したことは歴史的事実です。このことの反省の上に中国との関係は築かれな

いといけないと思います。